

荒川新聞

任長	任部	掃合
委員	宣伝	組支
行集	育宣	川支
東京	東京	東京
労働	労働	労働
荒川	荒川	荒川

2009年10月20日 第2号

大会を受けて 特勤手当廃止提案に対し 総力挙げ闘い抜く

清掃事業が区に移管され10年目を迎えた。この間を振り返ってみると、

我が支部でも残念ながら事業の委託化が続いている。最初に資源回収から



支部大会参加の組合員に訴えかける西谷書記長

書記長・西谷修一
私が書記長になって2年が経ち、多くの課題が見つかりました。とりわけ我が支部は、「平成13年」以降、新規採用がありません。毎年人員が削減される一方、「22年度作業計

画」においては大型が1台増の予定となっております。おり常勤職員配置が難しくなっています。これ以上の人員削減は断固として認める訳にはいきません。来年度は、なんとしても新規採用を勝ち取るた

書記次長・皆川昇一
去年に引き続き、書記次長をやらされる事になりました。頑張りまします。

副委員長・木島弘
第64回荒川支部定期大会が午後3時25分より参加者全員、時間休を取得

し行った。我々、南千住車庫は業務上の都合により不参加となったが、議案書を全

員で読み以下を確認した。
1. 南千住車庫は少数職場の最前線と位置付け、

始まり、昨年は粗大収集が委託された。職場は不安に満ちているが、職場を守るためには、日々の親切・丁寧な作業をもとに、より踏み込んだ付加

価値を早急に模索し、実践しなければならぬ。賃金関係では先月、当局側より「特殊勤務手当の廃止」が提案された。移管時の約束「処遇総体の水準低下は招かない」は、どうなったのか。07

区人事委員会から勧告された理不尽な内容。このような状況での廃止提案は、職員のモチベーションを下げるだけである。我々は生命と権利を守るため、団結して特勤手当廃止提案をはねかえし、09賃金確定闘争、22年度人員闘争の諸要求の実現に向けて、総力を挙げて闘いぬくものである。
【執行委員長・田中実】

以上決意する。

直営車の必要性を理解してもらおう努力をして、これを堅持していく。
2. 本部、地連、支部に結集し、いかなることにしても協力連携して、当局の様々な合理化や各種手当の切捨て等に対抗していく。
3. 我々3名は荒川支部の執行委員としての自覚と自信を持って議論と行動をする。

副委員長・小林豊
特別区人事委員会は勧告で、月例給▽0・38%、平均1605円、期末・勤勉手当▽0・35

月分を引き下げるという内容でした。これらが実施されることにより、職員の年間平均給与は約18万3000円の減額になります。このままでは、住宅ローンを抱えている組合員や子供の教育費がかかる組合員は、大打撃です。清掃事業の特殊性、困難性を考慮した納得できる賃金制度、人事・任用制度の構築に向けて、団結して頑張る行きます。

第64回
10月9日(金)開催
荒川支部
定期大会

執行部 各専門部の 挨拶

会計・戸張義弘

今後、益々厳しい状況が続く、より一層の組合員の団結が必要だ。

組織部長・野口悟

引き続き組織部長を担う事になりました。反合理化職場抵抗闘争を基軸に支部の仲間と、団結して頑張っていきます。

組織副部長・豊田浩史

支部一丸となって組合活動に奮闘します。

賃金部長・東海林一久

私達の労働条件を守りぬき、要求改善に向け全力で取り組みます。

力です。

賃金副部長・金子雅和

一生懸命やります！
よろしくお願ひします！

現業部長・竹内善之

昨年に引き続き現業部長を任せました。まだまだ勉強不足なので頑張りたいと思います。

現業副部長・浦井英昭

まだまだ、学ぶべき事がたくさんあるので、頑張ります。

教宣部長・青木起佳

今後、組合員の為に、より一層、頑張っていきます。

教宣副部長・増田昌夫

年々労働条件が厳しくなる中でも、気力負けしない様に、頑張ります。

2009年度

荒川支部執行委員役員体制

委員長 田中 実

副委員長 木島 弘

副委員長 小林 豊

書記長 西谷 修一

書記次長 皆川 昇一

会計 戸張 義弘

組織部長 野口 悟

組織副部長 豊田 浩史

賃金部長 東海林 一久

賃金副部長 金子 雅和

現業部長 竹内 善之

現業副部長 浦井 英昭

教育宣伝部長 青木 起佳

教育宣伝副部長 増田 昌夫

2009年度

荒川支部支部委員体制

1班 関根 進

石田 剛

2班 石井 忠夫

籾口 進

3班 田中 千房

田崎 明

4班 西尾 清

白石 早人

5班 藪中 順一

依田 栄一

6班 和栗 雅之

江川 浩一

南千住車庫 名波 悦生

杉山 昌弘